

米軍需企業

トマホークの
レイセオン社

日本で元り込み

岸田文雄政権が敵基地攻撃能力として導入を決めた長距離巡航ミサイル「トマホーク」を製造する米国企業・レイセオン社の幹部が自民党の防衛族議員を訪問しています。5年間で43兆円を投じて大量の兵器を購入する岸田政権の動きの中、国会内で自社をPRする「ロビー活動」をしていたとみられます。

(丹田智之)

岸田政権は昨年12月16日、安全保全委員会で筆頭理事を務め保3文書を閣議決定し、専守防衛を逸脱する「敵基地攻撃能力の保有」を明記。最初に導入されるのが射程1,600キロのトマホークです。

米政府の武器輸出制度である

「有償軍事援助(FMS)」に基

づいて400発を購入する方針

です。2023年度の予算案に

ミサイル本体と専用の格納容器

を合わせた購入費2113億円

(1発あたり約5億26800万円)

を計上しています。

昨年10月26日には、レイセオ

ン社の幹部が自民党的若宮健嗣衆院議員と議員会館内の事務所

で面会。若宮氏は現在、衆院安

全委員会で筆頭理事を務め

ています。同氏のフェイスブックによると、日米での防衛装備品の共同研究開発などについて意見交換をしたと報告し、トマホークを製造している会社だと説明しています。

この日は自民党本部で「防衛関係費の財源検討に関する特命委員会」が開かれ、同党の議員が財務省や防衛省の幹部と財源確保を議論。その場に若宮氏も出席していました。

若宮氏は安倍晋三政権で防衛副大臣を務め、自民党内では国防部会長を歴任するなど、防衛省とのつながりが深い防衛族議員です。

若宮氏の秘書は本紙の取材に「(レイセオン社から) 面会の依頼があり、こちらが応対しました。営業活動の一環なのかも含めて目的は分からず。防衛族の議員を回っているのだと思う」と説明しました。



自民議員を訪問

若宮 健嗣
10月26日 10:11 - 6

10/26(水)
アメリカ合衆国の防衛産業大手である「RAYTHEON MISSILES & DEFENSE」より幹部の方をお見えになり面会依頼でした。日米での防衛装備品の共同研究開発の件等で意見交換です。因みに誘導ミサイル「トマホーク」を製造している会社です。
本日も前日一教会同様と明日、明後日の安全保全委員会の調整でバタバタです。

#安全保全 #若宮健嗣 #若宮けんじ #kenjiwakamiya

レイセオン社の幹部と並んだ写真を投稿
した若宮健嗣衆院議員のフェイスブック